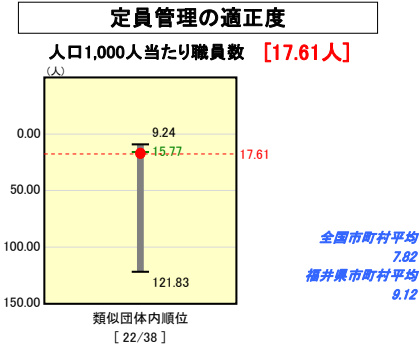
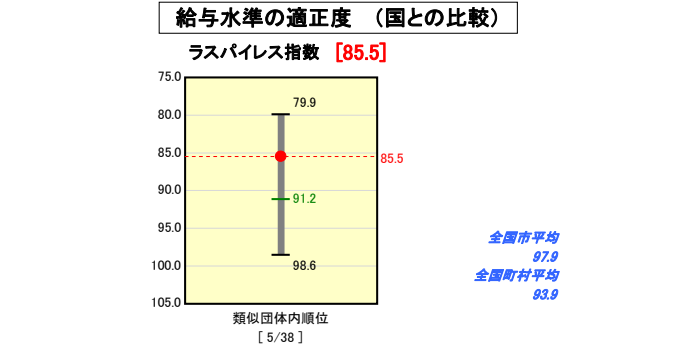
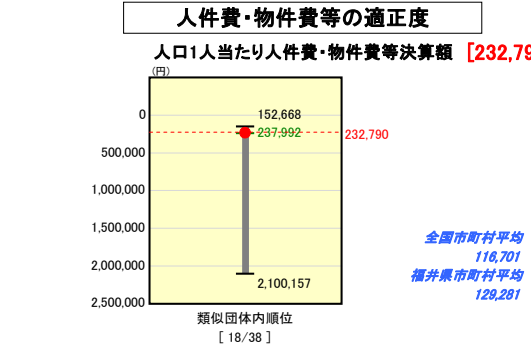
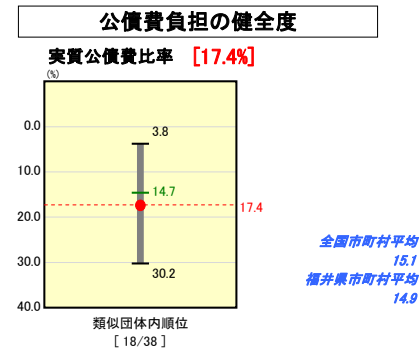
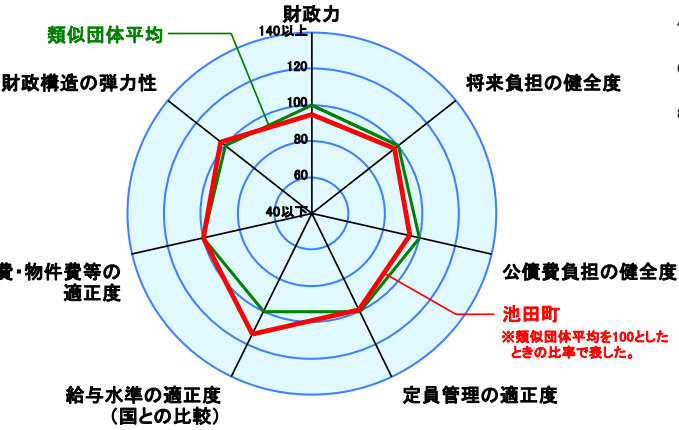
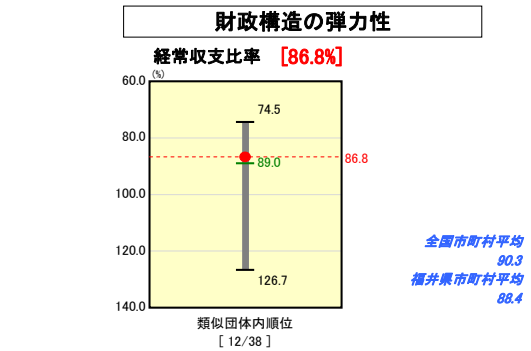
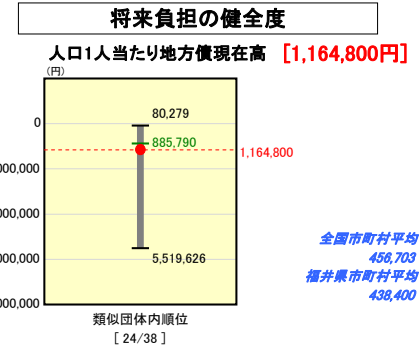
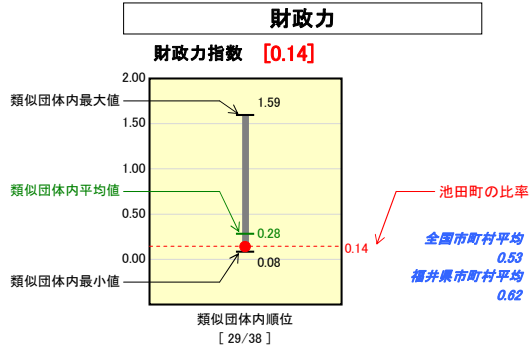


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 福井県 池田町

人口	3,520	人(H19.3.31現在)
面積	194.72	km <sup>2</sup>
歳入総額	3,551,845	千円
歳出総額	3,350,622	千円
実質収支	192,721	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

- [財政力(財政力指数)]
  - 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(38.4% 18年度末)に加え、基幹産業であった農林業の衰退等により財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。第3次行政改革実行プランに基づき、指定管理者制度の導入(高齢者施設)や組織機構の見直し(保健福祉医療の一体化)、事務事業の見直し(イベント中止等による歳出削減)により、行政の効率化、財政の健全化を図る。
- [財政構造の弾力性(経常収支比率)]
  - 類似団体を下回っているものの、普通交付税等が毎年減少しているため昨年度より0.3ポイント上昇している。高齢化率の高い本町においては、今後、扶助費等の福祉関係費が増加することが予想される。そのため、事務事業の一層の見直し等により、経常経費の削減に努め、現在の水準を維持する。
- [人件費・物件費等の適正度(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)]
  - 類似団体平均と同水準であるが、施設や設備の老朽化が進んでおり、今後維持修繕費等が増加する恐れもあるため、一層のコスト削減を図る。
- [将来負担の健全度(人口1人当たり地方債現在高)]
  - 昨年度より36,737円の減少となっているが、類似団体平均と比較すると高い水準となっている。下水道事業等の償還のピークも過ぎたが、今後も新規地方債の発行抑制や繰上償還等も行い、一層の財政健全化を図る。
- [公債費負担の健全度(実質公債費比率)]
  - 普通交付税に算入される公債費の額が減少したため比率が上昇し、類似団体平均を上回っている。下水道事業等の償還のピークは過ぎたが、今後とも繰上償還等の実施や新規発行債の抑制に努める。
- [定員管理の適正度(人口1,000人当たり職員数)]
  - 類似団体を多少上回っているが、第3次行政改革実行プランにおいて設定している、平成16年度対比15%の削減目標については、平成18年度までに削減目標は達成されている。今後も、多様な行政需要に対応しつつ、事務の統廃合等を進め更なる削減を図る。
- [給与水準の適正度(ラスパイレズ指数)]
  - ラスパイレズ指数は類似団体を大きく下回っている。今後も給与の適正化に努め、水準の維持を図る。